

今号では、3月17日に信州大学で開催された「大学eラーニング協議会フォーラム2015」の様子を紹介します。

また裏面には、新年度のeALPS利用にあたってご注意いただきたい点などをまとめましたので、ぜひご覧ください。

新任教員向けeALPS研修会も例年通り開催いたします。新任教員以外の方も参加可能ですので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

contents

e-Learning center Newsletter No.21

- 大学eラーニング協議会フォーラム2015が信大で開催されました
- information
「新任教員向けeALPS研修会」開催のお知らせ
- 2016年度コース利用の開始にあたって
- eALPS研修「小テストの作成」開催報告

大学eラーニング協議会フォーラム2015が信大で開催されました

3月17日、大学eラーニング協議会フォーラム2015が信州大学の長野（教育）キャンパスを会場に開催されました。e-Learningを先導的に推進している大学の知識交流や利用実践のノウハウの共有のために毎年開催しているもので、今年度は本学が会場となりました。

「高大接続を見据えたICT活用」をテーマに、基調講演には中央教育審議会前会長、高大接続システム改革会議座長である独立行政法人日本学術振興会理事長の安西祐一郎氏をお迎えしました。また、長野県高等学校関係者による招待実践報告や各大学・企業によるポスターセッションなど県内外の23大学をはじめ100名を超える来場者がありました。

安西祐一郎氏は高大接続について「入試改革ではなく教育改革である」「多様な人々と協働して学ぶ態度の養成は、高大接続で初めて入ってきた」と話され、「結果の採点ではなく、どういう思考プロセスで解いているかを評価する」「仮説を与えられている多肢選択問題ではなく、仮説を自分で

創るような記述式を一部導入することが、高校教育にも良い影響を与えるのではないかと、また「高等学校基礎学力テストは、高校生一人一人の学習の改善と高校の指導の改善に使って欲しい」と語られました。「子どもたちに幸せな人生を送って欲しい」そのために「時代や社会が変わっても、その中できちんとご飯を食べていけるように」という言葉が印象的でした。

続いて「高等学校でのICTを活用した遠隔授業の試み」について長野県教育委員会事務局の松原雄一氏と佐久平総合技術高等学校の長原正夫氏にご発表いただきました。高等学校を結ぶネットワーク環境整備、実際の遠隔授業の様子が紹介されました。離れたキャンパス間で、デザイン科の生徒と工業科の生徒が協働してベンチの制作を進める様子などが披露されました。

ポスターセッション会場では14テーマの発表があり、反転学習やリメディアル教育、コンピュータによるテストの工夫、eポートフォリオによる振り返りや修学指導など、学力保障への取り組みや主体的な学びへ導くための構想が発表されました。

大学教育のみならず高等学校教育にも視野を広げ、新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた教育改革について考えるフォーラムとなりました。



ポスターセッション会場



安西 祐一郎氏による基調講演

e-Learning Information

「新任教員向けeALPS研修会」開催のお知らせ

日時：平成28年4月18日（月）3限（13:00 - 14:30）、4限（14:40 - 16:10）

* 同じ内容で2度行いますので、どちらか都合の良い方にご参加ください。

場所：「松本キャンパス SUNS 会議室」を主会場に以下の会場にSUNS 配信

SUNS 会議室（教育）、SUNS 会議室（工学）、SUNS 会議室（繊維）、SUNS 会議室（農学）

* 各地キャンパスでも、スタッフがサポートいたします。

対象：新任教員 および 初めてeALPSをお使いの方

内容：eALPSの機能と活用事例を紹介し、実際にログインして体験していただきます。個別相談にも対応いたします。

持ち物：無線LANに接続可能なPC・業務用IDとパスワード

申込：e-Learningセンター（elarning@shinshu-u.ac.jp）へメールでご連絡ください。

2016年度コース利用の開始にあたって

3月22日に2016年度のeALPSコースがご利用いただけるようになりました。新年度がスムーズにスタートできますように、不明な点はe-Learningセンターまでお気軽にお問い合わせください。

**時間割表示が新年度に切り替わりました。
誤りがありましたらご連絡ください！**

「担当している授業が時間割に表示されない」「不要なコースが表示される」「前後期や開講曜時限が異なる」等、時間割の表示が正確でない場合には、e-Learningセンターまでお知らせください。

複数コースを1つにまとめたい、シラバスに掲載されていないコースを作成したい等のご要望にもお答えしています。

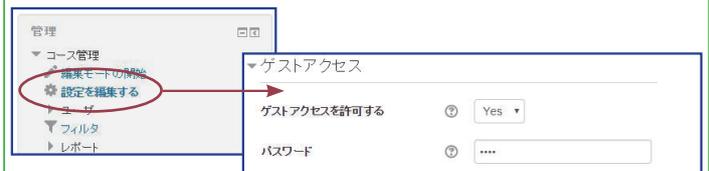
コースの移行は、e-Learningセンターで行います！

過年度の内容（教材、課題、小テストなど）を2016年度のコースにコピーする作業はe-Learningセンターで行います。希望される方は、「eALPSコース移行依頼書」をメールでお送りください。依頼書は、ACSUにログインして【eALPSヘルプ&サポート】→【各種申請書類】からダウンロードすることができます。

学生は、履修登録後1日程度でコースに登録されます！

学生がキャンパス情報システムから履修登録を行った後、1日程度でコースに登録されます。

コースに未登録の学生も含めて、初回授業からコースを利用させたい（掲示した資料を閲覧させたい等）場合には、ゲストアクセスを許可する事で対応できます。パスワードを設定して利用者の限定も可能です。



受講者にメールを配信したい場合は、コースへの登録が必要です。学生を一括登録しますので、e-Learningセンターまでご相談ください。

TAや単位を必要としない学生を登録したい場合にもe-Learningセンターまでご連絡ください。

過年度コースの内容をご確認ください！

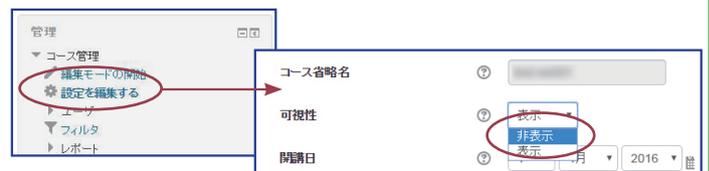
過年度のコースの内容は、**標準で学生も閲覧可能**で、履修が終了した科目のコースの資料や課題、テスト問題などを閲覧することができます。

不都合がある場合には、その項目あるいはコース全体を非表示に変更してください。ご連絡いただければe-Learningセンターで処理を代行することも可能です。



コースを非表示に設定する方法

- ①管理メニュー【設定を編集する】を選びます。
- ②【可視性】を【表示】から【非表示】に変更します。
- ③【変更を保存する】をクリックすると、学生はこのコースに入れなくなります。



項目を非表示に設定する方法

- ①【編集モードの開始】をクリックします。
- ②目のアイコン  をクリックすると項目がグレーで表示され、学生からは見えなくなります。



e-Learningセンター・高等教育研究センター共同主催 eALPS研修「小テストの作成」開催報告

2月29日、e-Learningセンターと高等教育研究センター共催により、eALPSの小テスト機能に関する研修会が開催され、松本キャンパスを主会場に、長野（教育、工学）・上田・伊那の各キャンパスにSUNS配信されました。今回の研修は、e-Learningセンターに寄せられる小テストに関する問い合わせの声を受けてFDとして企画したものです。

小テストの基本的な機能、問題の作成方法や問題バ



松本キャンパス

教育キャンパス

工学キャンパス

ックを使用した問題の管理、受験結果の確認、ランダムに出題する方法などをご説明し、実際に体験していただきました。38名の参加者の皆様には、後日FD参加証が交付されました。